

### 第3回審議会（書面開催）での主なご意見

#### 1 資料1「これまでの審議会での主なご意見」について

項目	ご意見
p.8 (2)対象に応じた環境教育・環境学習	○ごみ探検隊のコースにごみとしての包装が生まれるメーカーの取材を追加する。 →○ごみ探検隊のコースに、生まれてしまった事後のごみの話だけではなく、ごみとして生まれる包装部分をメーカーに取材する。
p.10 下から3行目	○～入選者の告知・商品を拡大する。 →○～入選者の告知・紹介の場を拡大する。

#### 2 資料2「答申案（イメージ）の概要」について

項目	ご意見
—	大枠としてよいと思うが、資料3の整理後、再度検討したい。
—	一枚の表にすると随分抽象的になったというイメージです。毎年の違いが出ているかが心配のところでは。
1 粗大ごみの減量	3 粗大ごみのリユースの推進 ■粗大ごみからのリユース品利用の拡大（中古品の積極使用を推進） ※下線部を追加
2 ペットボトルの減量	考えられる取組に、 OPET 代替容器の検討（リターナブルびんの活用） を追加
2 ペットボトルの減量	付記に「ペットボトル収集有料化を検討すべきとの意見あり」とあるが、将来的な検討が課題とならないか。

項目	ご意見
	<p>考えられる取組として、「各種情報媒体やキャンペーンによるマイカップ・マイボトルの利用、給水スポットの利用等の啓発」とあるが、駅前、公共の建物、デパート等人の集まる場所での設置の促進としたい。まず（給水スポットの）設置が先。現在はトイレの洗面所の水道はほとんど自動水栓で手を出さないと水が流れてこないでボトルに給水できない。</p>
<p>3 環境教育・環境学習の推進</p>	<p>「方向と考え方」の中にある今日行く・学習について、継続や持続の言葉を入れたらどうか。</p> <p>考えられる取組「市民向け連続講座の開設」 環境に関しては、環境政策課とも連携で推進していくのが必要では。</p> <p>考えられる取組に ○事業者、社会人に対する教育機会の推進 を追加</p>

### 3 資料3「答申案作成にあたっての素案」について

#### ■資料3の全体

ご意見	
資料2で心配したものを資料3で詳しく解説されていて良かったですが、今までも取り組まれてきた内容と思われる中、今年度ならではのものとか、これは引き続きとかの強調があるとわかりやすいと感じました。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・粗大ごみ、ペットボトルなど再使用可能な品目に対し、ごみという言葉ではなく使えるものだという意識付けをさらに進めていく必要があると考えます。ネーミングなど、やろうと思えばすぐに出来るところから、進めていただきたいと思います。</li> <li>・環境教育・環境学習は、出前講座や施設見学等、実際に見て体験することの重要性を強く感じました。 リサイクルポスターやエコ川柳、また、キャラクターを使ったメッセージなど、自動・生徒や一般市民が一目見てメッセージを受け止めることが出来る活動などが大切など認識いたしました。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルの減量について 議事録を読み返し、あらためてペットボトル有料化の有用性を感じました。色々と懸念事項があることと思いますが、収益の用途の説明により市民の理解は得られるのではないのでしょうか。取組検討案として東進に入れたらいいかと思いました。</li> </ul>	
<p>¥環境教育・環境学習の推進</p> <p>デジタルツールの利用について、粗大ごみのリユース用WEBシステムだけでなく、若年層をターゲットにした情報発信や啓蒙活動にInstagramやX(Twitter)、YouTubeなどのデジタルツールを取り入れる方法も取組例に入ると具体的かと思います。</p>	
ふじみ衛生組合リサイクルセンターの建替については期間限定の内容となりますが、他の取組は継続して行っていく事案だと思います。映像を用いて、いつでも・誰でも内容を確認できるYoutubeを活用したり、体験や体感が出来る広報活動を広めていくと、活字より理解が深まるのでは無いかと思います。今後の方向として活動的な取組を示すことは良いのではないのでしょうか。	

#### ■資料3 「はじめに」

頁	項目	ご意見
3	「2 環境教育・環境学習について」本文6行目： 次代を担う子どもたちへの～	次世を担う子どもたちを <u>はじめ事業者、社会人への～</u> 下線部を追加

■資料3 「第1 粗大ごみの減量について」(p.3～)

頁	項目	ご意見
3	下から5行目： 「可燃性粗大」「不燃性粗大」「粗大資源」に～	粗大資源の説明必要
4	下から9行目：〈取組例〉2つ目の○ ～粗大ごみ問題を訴える。	「粗大ごみ問題」とは何のことか。
4	〈取組例〉	〈取組例〉の4つめの○として、「クリーンセンターでの粗大ごみ収集&解体の現状を体感してもらおう。(もったいなさの実体験)」を追加追加する。
4	下から2行目： リサイクルショップなどで～	「リユースショップ」ではないか。
5	4行目： ～インターネットを活用した不用品交換・売買ビジネスと～ 12行目：〈取組例〉2つ目の○ 協定を結んでいる事業者のリユース促進サービス～	同じ事ではないか。
5	8行目：〈取組例〉1つ目の○ 市民に対し「再利用可能な不用品はごみではない」という意識付けを図る。	「中古品を積極的に購入する」を追加する。
5	17行目：〈取組例〉3つ目の○ 単身者の引越し時の～	可能なのか。
5	(3)「方向3：粗大ごみのリユースの推進」以下の3行： 現在市では、収集した粗大ごみの中から～	

■資料3 「第2 ペットボトルの減量について」

頁	項目	ご意見
6	下から4行目： ～また、市内の多くのスーパーマーケットでは～	調布駅周辺のスーパーマーケットでは皆無であり、「多くの」とは言えないのでは。
7	下から6行目： ～家庭内では大型ボトルの利用を推奨するなど～	「ペットボトルを使わない工夫」を追加
7	下から2行目： ～ペットボトルのリデュースに取り組む事業者～	ペットボトルのリデュースに取り組んでいる事業者、という訳ではないのでは。
8	2行目：〈取組例〉の3つの○ ～利便性の裏に潜む地球環境問題や資源循環の重要性を理解し～	<u>利便性の裏に潜む</u> ←下線を引く
8	(2)「方向2：多様な回収の促進」以下の7行 「調布市一般廃棄物処理基本計画（第3次）」 では、～	ペットボトルの集団回収はない。全体の整理が必要では。
8	〈取組例〉1つ目の○： ～「ごみ減量・リサイクル協力店」の認定店の確保～	『リターナブル瓶回収店舗』の利用促進を追加する。
8	〈取組例〉3つ目の○： ～新型の「リサイクルボックス」の設置促進や	「新型のリサイクルボックス」の表現が曖昧。
8	(3)「方向3：市の分別収集・リサイクル体制の見直し」以下の文章： 現在、市は隔週で～(p.9)ふじみ衛生組合との連携を図る。	事業者回収への協力、市民のエチケット、マナーについての普及が必要。

頁	項目	ご意見
9	5行目： ～三鷹市，ふじみ衛生組合との連携を図る。	以下の記述を追加する（下線部）。 ～連携を図るとともに、 <u>市民にボトル to ボトルが最終的には自分の得に帰ることを理解してもらい並行リサイクル業者の指定を目指す。</u>
9	(4)方向4 〈取組例〉○の1つ目： ○ふじみ衛生組合リサイクルセンターの建替期間中～	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の記述を追加する。</li> </ul> ⇒「市民に呼びかけ、 <u>建替終了後も行動が定着するよう図っていく。</u> 」 <ul style="list-style-type: none"> <li>建て替え中のみではなく、減量効果の継続が重要。一過性のもたしないことを述べる。</li> </ul>

### ■資料3 「第3 環境教育・環境学習の推進」

頁	項目	ご意見
10	「1 環境教育・環境学習の取組の現状と課題」の2つ目、3つ目の○	箇条書きの部分、第1、第2と書き方を揃える。
12	〈取組例〉1つ目の○： ～「リサッチョ」を掲示したり、一定条件の下で事業者に対する～	以下の記述を追加する。 「イベントでは着ぐるみを活用するなどの他」
11	下から11行目： ～若年単身者層に向け知識の提供や～	以下の記述を追加する。（下線部） ～ <u>若年、単身者層、社会人、事業者</u> に向け知識の提供や～
11	(1)方向1：対象に応じた環境教育・環境学習の〈取組例〉	以下の取組例を追加する。 ○高校生の自発的環境改善大使の募集、活動支援
12	3行目： ～リサッチョはすでに各種啓発媒体や事業者との～	以下の記述を追加する。（下線部） ～ <u>ごみを分別しないことで滅亡した国から来た</u> リサッチョはすでに～
12	(2)方向2：効果的な環境教育・環境学習手法の展開の〈取組例〉	以下の取組例を追加する。 ○出前講座の事業者への派遣推進、強化